

五領地区連合 自治会だより

第40号

令和4年3月吉日

発行所
五領地区連合自治会



令和三年度 防災フォーラム

〔警戒レベル3で〕
「五領の高齢者・要援護者避難等の仕組みづくり」

二〇二二年十二月四日
人数制限、検温、手指消毒、
アクリル板の設置、専用マ
イクを準備し、コロナ対策
を実施した上で、濱田高槻
市長をお迎えし、五領地区
防災フォーラムを実施し
ました。

第一部 特別講演 風水害
による犠牲者ゼロを目指し
て」講師 関西大学 奥村
与志弘准教授

第二部 パネルディスカッ
ション
パネリストとして、高槻市

ご挨拶

五領地区連合自治会
会長 塚本與浩



早春の候、会員の皆様にお
かれましては益々ご清祥の事
とお喜び申し上げます。また、
平素は、五領地区連合自治
会の活動に対し格別のご支
援ご協力を賜り、厚く御礼
申し上げます。

さて、過去二年は新型コロナウイルス
感染症に揺れた年と
なり、感染者数も増減を繰
り返し、感染拡大防止のため
外出自粛要請、蔓延防止等
重点措置や緊急事態宣言等

の発令の結果、五領地区連合
自治会での住民間の交流や地
域活性化の取り組み活動も大
きな影響を受けました。特に、
地域の多くの皆様が毎年楽し
みにしておられます「五領ふ
るさと祭り」や「五領文化
展」を余儀なく中止とさせて
頂きました。結果、残念です
が、地域住民間や社会との「ふ
れあい」や「絆」が薄れ、孤独化
や孤立に陥る例も報告されて
おります。令和四年の干支は

壬寅で、「厳しい冬を越え、生
命力ある芽吹きを迎え、新し
いものが生まれ、成長する」意
味があると言われております。
今後は、五領地区連合自治会
の原点に立ち戻り、地域社会
での人々との「ふれあい」や
「絆」を強める為に、世代間や
地域間との交流を「再活性化」
させる多様な取り組みを實行
して行きたいと考えておりま
す。結びに、皆様のご健勝とご
多幸を心からお祈り申し上げ
ますとともに、今後とも一層
のご支援ご協力を賜りますよ
うお願い申し上げます。



危機管理室殿、コミュニティ推
進室殿、福祉政策課殿、五
領地区福祉委員長殿、民生
児童委員上牧地区委員長殿
にご登壇頂きました。

第一部の講演では奥村先
生から水害メカニズムのお話
を頂く中で、次のような貴重
なコメントを頂きました。

★特別警報が出ても避難行
動につながらない。

★防災対策等が出来ない人
に避難行動、防災対策をど
のようにしてもらおうか。防災
以外をやっている人にアイデ



アを出してもらおう。
★これまでに無かったアプロ
チを検討すべき。
第二部のパネルディスカッショ
ンでは、パネリストの方々から普
段の取組みや、悩み・課題につ
いてお話頂きました。

今回の防災フォーラムは、五
領地区防災会が地区の各種団
体と共に今後の取組みを推進
するキックオフという位置づけ
で開催しました。

防災フォーラムの詳細について
はホームページでご確認ください
。

五領地区コミュニティサイト
<https://www.goryo.net>



社会見学会

コロナウイルスに負けず！
巣ごもり脱出！

令和三年十一月十七日(水)、快晴のもと開催されました。例年、五領地区連合自治会の主催で二年毎に開催してきましたが、今回はコロナ禍のため三年ぶりの開催となりました。例年のようにバスを利用した小旅行は様々な課題から困難となりました。そこで今回は健康増進と地域の親睦を深めるため、徒歩による「五領地区の歴史街道めぐり」を企画しました。美味しいお弁当とお茶付で参加費千円として募集し、五十数名の参加がありました。



『五領地区の歴史街道』をめぐり「安満遺跡公園」へ



梶原一乗寺



JR線側道



安満遺跡公園



梶原一里塚

コースは、上牧本澄寺集合↓梶原一里塚↓梶原一乗寺↓萩之庄公民館↓安満遺跡公園という約八・五キロメートルを三時間かけて全員無事に歩きました。本来、西国街道を歩こうと考えていましたが、交通量が多く安全性が保てないと考え、出来るだけ裏道を歩くことにしました。本澄寺、一乗寺では住職による地域の歴史講話を聞き、安満遺跡公園ではボランティアによる一時間の案内を受け、古代のロマンに接しました。参加者は無事現地解散となり、次回「社会見学会」を楽しみにしています等のお声を頂きました。五領地区連合自治会としても徒歩という初めての企画が好評だったので、次回もよい企画をたて、皆様に喜んで頂くよう頑張ります。

梶原六丁目横断歩道 安全対策

進入規制(進入禁止)が実現

二〇二二年三月一日より通学時間帯の七時四十五分〜八時十五分の三十分間

交差点の形態が変わり、横断歩道の信号がなくなったことから、五領小学校への通学路となつてこの横断歩道は、新幹線側道に左折進入する車による危険が増しました。

学校・保護者からの要請を受け、二〇二〇年五月十四日に高槻警察署に国道一七一号線高槻方面から新幹線側道への左折進入禁止等の要望書を提出いたしました。その後、同年九月十八日に大阪府警察本部、大阪府茨木土木事務所、学校等関係者による現場確認や度重なる関係者会議、う回路チラシを作成し新幹線側道沿いの企業への要望など、学校・保護者・地域住民の粘り強い要望により、茨木土木事務所には緑石工事、危険看板・カーブミラーの設置、警備員の配置(対策が実現するまでの間など出来る限りの対策を実施頂きました。また、高槻警察署殿には府警本部殿との連携による進入規制を実現して頂きました。

今後の課題として、進入規制時間帯に間に合わなかった児童や警備員の配置が終了したことが事故につながらないか、懸念され

ます。保護者・地域として、どう見守っていくかが課題として残りま



日赤の活動

▼献血活動

地域献血を六月二十日、十一月二十日にイオン高槻店に献血車を迎え献血推進活動に協力しました。

▼社資募集の報告

本年度も各自自治会のご協力により五十六万八千八百七十二円集まりました。今後ともご協力をお願いします。